

沿革詳細版

年 月 日	記 事
大正 6 年 9 月 3 日	大阪市内の新聞記者を新大阪ホテルに招き、森校主より女学校の設立趣旨を発表。
大正 6 年 9 月 5 日	本校創立事務所を東区北久宝寺町四丁目に置く。設立に従事した者（顧問）伊賀駒吉郎、蜂谷なを（直子）、竹下英一、潮田玄奐、書記2名
大正 6 年 9 月 1 0 日	枚岡神社武津宮司に依頼し敷地地鎮祭を行う。
大正 6 年 9 月 2 2 日	樟蔭高等女学校(本科4ヵ年、専攻科2ヵ年)設立認可申請。
大正 6 年 1 2 月 4 日	全校舎上棟式を行う。
大正 6 年 1 2 月 2 8 日	樟蔭高等女学校設立認可。(本科4年800名、専攻科2年160名)
大正 7 年 3 月 3 0 日	第1回本科1年生入学試験を行う。
大正 7 年 3 月 3 1 日	合格者発表、本科1年生200名、専攻科生35名。
大正 7 年 4 月 1 0 日	蜂谷なを校長事務取扱に任ずる。教職員内訳；（設立者）森平蔵、（創立顧問・専務理事）伊賀駒吉郎、（理事）朝田源造、（校長事務取扱）蜂谷なを、（教諭）竹下英一、朝輝記太留、荘司菊子、武井松代子、尾崎キミ子、藪倫子、河村カネ子、加納愛子、森川文子、永井安子、湯本愛子、（監事）潮田玄奐、（書記）内山小麿子、藤澤栄枝子、永山環子 以上19名。
大正 7 年 4 月 1 3 日	樟蔭高等女学校本科（196名）および専攻科（35名）第1回入学式を行なう。
大正 7 年 5 月 2 3 日	朝輝教諭体育視察のため米国へ派遣。
大正 7 年 1 0 月 2 5 日	伊賀駒吉郎を校長に任ずる。
大正 7 年 1 1 月 1 3 日	開学式（新築落成式）を行なう。（14日は内輪の会）
大正 8 年 4 月 1 0 日	私立樟蔭高等女学校の組織を財団法人として認可せられる。 初代役員は下記のとおり。 理事長 森 平 蔵 理事 朝 田 源 造 伊 賀 駒吉郎 監事 藤 原 茂 吉
大正 8 年 6 月 1 0 日	伏見宮秀女王殿下御台臨、御令旨を賜わり且つ御土産品の御下賜があった。 午前8時30分梅田着、全職員が出迎え。
大正 8 年 1 1 月 1 3 日	大正天皇 須磨離宮に行幸、森理事長拝謁仰せつけられる
大正 9 年 7 月 1 9 日	第1回白馬登山出発
大正 9 年 8 月 2 6 日	室富教諭欧米視察のため出発、職員生徒一同梅田駅まで見送り。
大正 9 年 1 1 月 8 日	全国高等女学校長会を本校において開催。（3日間）
大正 1 0 年 4 月 1 1 日	校長欧米視察のため出発、職員生徒一同梅田駅まで見送り。
大正 1 0 年 7 月 1 2 日	校長並びに室富教諭欧米視察より帰朝、梅田駅まで全職員出迎え。
大正 1 0 年 1 1 月 1 8 日	高等科設置認可。（専攻科廃止）
大正 1 1 年 4 月 1 日	高等科第1回入学式を行なう。
大正 1 1 年 1 2 月 4 日	鎌田栄吉文部大臣来校、御訓話があった。
大正 1 2 年 3 月 3 1 日	専攻科（2ヵ年）再設置認可。
大正 1 3 年 7 月 1 3 日	高師浜にて水泳練習会開催（本学最初の水泳会）
大正 1 3 年 1 月 2 6 日	東宮殿下御成婚祝賀式を行う。
大正 1 4 年 1 2 月 2 5 日	樟蔭女子専門学校（予科1ヵ年）、本科（国文科、家政科、技芸科）（3ヵ年）設置認可。
大正 1 5 年 4 月 1 2 日	樟蔭高等女学校専攻科及び高等科廃止。
大正 1 5 年 4 月 1 5 日	樟蔭女子専門学校第1回入学式を行なう。
大正 1 5 年 8 月 1 日	大阪府市後援楠妣庵夏期大学を本校において開催。
昭和 2 年 1 月 1 4 日	記念館上棟式を行なう。（創立10周年を記念して建築）
昭和 2 年 2 月 1 5 日	森 重雄を理事に任命。
昭和 2 年 1 1 月 1 3 日	昭和天皇須磨離宮に行幸、森理事長拝謁仰せつけられる。
昭和 3 年 6 月 2 1 日	女専教員免許無試験検定に関する願書提出。
昭和 4 年 1 月 1 8 日	木村督学官各科教授視察、国文科三年生の学力試験を行う。
昭和 4 年 1 月 2 9 日	近藤文部検定委員来校、家政科三年生の学力試験を行う。
昭和 4 年 2 月 1 4 日	成田文部検定委員来校、技芸科三年生の学力試験を行う。
昭和 4 年 2 月 2 0 日	由井文部検定委員来校、家政科三年生の学力試験を行う。
昭和 4 年 5 月 6 日	女専国文科、家政科、技芸科の中等教育免許無試験検定の件認可。
昭和 5 年 9 月 2 5 日	女専家庭科付設認可。
昭和 6 年 1 1 月 7 日	樟蔭保護者会創立。
昭和 7 年 1 1 月 5 日	創立15周年祝賀式を行なう。
昭和 1 0 年 2 月 2 7 日	会館上棟式を行なう。
昭和 1 0 年 4 月 2 2 日	学校長観桜会御宴お召しにつき上京。
昭和 1 1 年 8 月 2 1 日	「樟蔭学報」創刊号発行。
昭和 1 3 年 7 月 1 6 日	女専夏期修養会（第1回）を開催。
昭和 1 4 年 8 月 1 4 日	女専夏期寮にて製作の菓子133貫北支派遣牛島部隊へ送る。
昭和 1 5 年 1 0 月 3 0 日	教育勅語渙発50周年記念式を行う。農野、竹下、三宅、田野教諭、上原、中島、小林教授多年勤続の故を以って文部大臣から表彰される。

昭和15年11月10日	紀元2600年奉祝式典を東京において行われるにつき、校長生徒総代上京。
昭和15年11月17日	樟友会保護者会主催の表彰職員祝賀式並びに謝恩会があった。
昭和16年 5月 8日	「菊水」の校章、「菊」から「桜」に変更。（終戦まで）
昭和16年10月	樟蔭高等女学校、5年から4年に。
昭和17年 2月 3日	女専生、軍用シャツ1800着裁縫奉仕軍人援護会依託慰問袋調製。
昭和17年11月 4日	創立25周年記念式を行なう。（日支事変中のため簡素に行う。）
昭和18年	戦争のため勤労奉仕始まる。
昭和19年	女専、高等女学校ともに軍需工場に勤労働員（女専の一部は学校工場で勤労）。 高等女学校の最下級生のみ授業を受ける。
昭和20年 8月15日	終戦を迎える。本学園は戦災を受けることなく、速かに秩序を回復し授業を再開する。
昭和21年 3月 1日	潮田玄亟を理事に任ずる。
昭和21年 3月 3日	伊賀駒吉郎初代校長逝去される。女専教授細川馨を校長事務取扱に任ずる。
昭和21年 3月 4日	細川校長事務取扱、故伊賀校長叙勲申請のため上京、勲五等に叙せられる。
昭和21年 4月12日	故伊賀校長学園葬を行なう。
昭和21年 8月 8日	女専名誉教授上原延蔵を樟蔭女子専門学校校長兼樟蔭高等女学校校長に任ずる。
昭和22年 3月30日	上原延蔵を理事に任ずる。
昭和22年 4月 1日	学制改革に伴ない、新制樟蔭中学校を設置する。
昭和22年 4月14日	新制樟蔭中学校第1回入学式を行う。
昭和22年10月19日	創立30周年記念式を行なう。
昭和23年 1月 8日	上原校長病気退職のため女専教授細川馨を樟蔭女子専門学校校長兼樟蔭中学校、高等学校校長に任ずる。
昭和23年 1月12日	理事会において大阪樟蔭女子大学を設置する件を決議する。
昭和23年 3月21日	本学園は経営を一本とし校長の下に主事を置くこととなり、佐々木教諭中学校主事・勝俣教授高等学校主事を任ずる。女専には主事を置かず森永教授を教務課長に任ずる。
昭和23年	学園林第1林班取得
昭和23年 4月 1日	学制改革に伴ない、旧制高等女学校を解消し、新制樟蔭高等学校を設置認可。
昭和23年 5月 1日	中学校P.T.A誕生。
昭和23年 5月28日	大学設置に関する申請書を提出する。
昭和23年 9月18日	大学設置委員会審査委員の現地審査を受ける。
昭和24年 2月21日	大阪樟蔭女子大学学芸学部設置認可。
昭和24年 2月25日	財団法人私立樟蔭高等女学校を財団法人樟蔭学園に名称変更する。
昭和24年 3月25日	入学試験を施行し、本科別科計約100名に入学を許可する。
昭和24年	学園林第2林班取得
昭和24年 4月 1日	細川馨校長を大阪樟蔭女子大学学長に任ずる。
昭和24年 4月 5日	上原延蔵理事退職により細川馨を理事に任ずる。
昭和24年 4月25日	大阪樟蔭女子大学第1回入学式を行なう。
昭和24年 5月 1日	授業を開始する。
昭和24年 6月 4日	大学後援会を結成し、山本平次郎氏会長となる。
昭和24年 6月13日	理事会で学長より提出の社会科学、食物、被服関係の図書を毎年度五拾万円ずつ購入する件を満場一致可決す。
昭和24年 7月 1日	大学教授研究室の整備費として約四拾万円支出の件可決し、本休暇中その工事を終了せしむることとする。
昭和24年 8月 4日	大阪樟蔭女子大学夏期大学公開講座を実施する。
昭和24年10月20日	大学の研究報告書として樟蔭文学第1号を発行する。
昭和24年10月22日	大阪樟蔭女子大学開学式を挙行する。
昭和25年 5月 6日	理事会で学長より提出の児童学科施設に関する図書、器械、器具等計金拾五万円を購入する件を満場一致可決する。
昭和25年 8月 2日	大阪樟蔭女子大学夏期大学公開講座（文学・家政学）を実施する。
昭和25年10月10日	大阪樟蔭女子大学附属幼稚園設置認可申請。
昭和25年10月20日	本学の研究報告書として樟蔭家政学第1号を発行する。
昭和25年12月27日	大阪樟蔭女子大学附属幼稚園設置認可。
昭和26年 2月28日	大阪樟蔭女子大学教職課程認可。
昭和26年 3月 1日	法規の改正に伴い財団法人樟蔭学園を学校法人樟蔭学園に組織変更認可。 初代役員以下のとおり。 理事長 森 平蔵 理 事 森 タマ、 潮田玄亟、 細川馨、 佐伯勇 監 事 金沢利助、 金森乾次
昭和26年 3月31日	細川学長を附属幼稚園長兼務に、大学助教授斎藤一也を附属幼稚園主事に任ずる。
昭和26年 4月 1日	樟蔭高等学校主事勝俣億朗病気のため主事辞任。谷口武樟蔭高等学校主事に任ずる。
昭和26年 4月 8日	附属幼稚園舎竣工。
昭和26年 4月14日	附属幼稚園第1回入園式を行なう。
昭和26年 5月 4日	大阪樟蔭女子大学別科設置認可。
昭和26年 5月26日	附属幼稚園開園式を行なう。
昭和26年 7月12日	大阪樟蔭女子大学夏期公開講座開催。
昭和27年10月10日	大学別館建築地鎮祭を行なう。
昭和27年11月18日	創立35周年記念式を行なう。

昭和28年 3月18日	大学別館竣工。
昭和28年 5月28日	増築学舎落成式を行う。
昭和28年 7月13日	大阪樟蔭女子大学夏期公開講座開催。
昭和28年10月20日	大学の研究報告書として「樟蔭文学」第五号、「樟蔭家政学」第四号を発行。
昭和28年11月10日	栄養化学研究所（食物学科実験室）建設の件、学長より提出し理事会の結果29年度前期において建設の件可決。
昭和29年 7月12日	大阪樟蔭女子大学夏期公開講座開催。
昭和29年 9月18日	栄養化学研究所竣工。
昭和29年10月 1日	大学設置条件中の教員組織に関する部分解除せられる。
昭和29年10月20日	大学の研究報告書として「樟蔭文学」、第六号「樟蔭家政学」第五号を発行。
昭和29年11月29日	教育職員免許法による免許状授与の所要資格を得させるための課程について認定される。 1. 課程名 大阪樟蔭女子大学の正規の課程 2. 免許状の種類および免許教科 中学校 国語、保健、家庭、英語 高等学校 国語、保健、家庭、英語 3. 認定の期間 昭和29年4月1日
昭和29年12月 8日	学校法人樟蔭学園植林事業の一環として三重県名賀郡青山町高尾に学園第三林班を取得する。
昭和30年 1月28日	教育職員免許法による免許状授与の所要資格を得させるための課程について認定される。 1. 課程名 大阪樟蔭女子大学の正規の課程 2. 免許状の種類および免許教科 幼稚園 3. 認定の期間 昭和29年4月1日
昭和30年 2月 4日	金森監事に代り三好萬次近畿日本鉄道（株）会長を監事に任ずる。
昭和30年 4月 1日	金沢利助監事に代り藤原弘造評議員を監事に任ずる。
昭和30年 4月 1日	大学学芸学部食物学科が栄養士法にもとづき栄養士養成施設として指定される。
昭和30年 7月14日	大阪樟蔭女子大学夏期公開講座開催。
昭和30年10月20日	大学の研究報告書として「樟蔭文学」第七号、「樟蔭家政学」第六号を発行。
昭和31年 5月 3日	細川学長が教育功労者として、大阪府知事から表彰を受ける。
昭和31年 5月 5日	二回に亘り中学部建設用地拡張のため学園南側の土地約2,000㎡を購入する。
昭和31年 7月 8日	新校舎地鎮祭を行う。
昭和31年 7月12日	本日より六日間、大阪樟蔭女子大学夏期公開講座開催。
昭和31年10月20日	本大学の研究報告書として「樟蔭文学」第八号、「樟蔭家政学」第七号を発行。
昭和31年12月30日	中学校円形校舎および地下通路竣工。
昭和32年 4月20日	学園正門および橋樑改築竣工。
昭和32年 7月15日	大阪樟蔭女子大学夏期公開講座開催。
昭和32年 8月31日	潮田玄亟理事逝去。
昭和32年 9月 3日	故潮田理事の準学園葬を行なう。
昭和32年10月20日	大学の研究報告書として「樟蔭文学」第九号、「樟蔭家政学」第八号を発行。
昭和32年10月25日	潮田富貴蔵大阪大学教授を理事に任ずる。
昭和32年11月 3日	森平蔵理事長多年の功績により藍綬褒章を授けられる。
昭和32年11月 8日	創立40周年記念式を行う。
昭和32年11月 9日	校内父兄同窓会員を招待し、演芸並びに園遊会を行う。
昭和33年 2月25日	大学鈴木教授逝去。自宅において告別式を行う。
昭和33年 2月27日	大学矢島書記逝去。自宅において告別式を行う。
昭和33年 3月31日	森永教授病気のため退職。
昭和33年 7月 8日	高校普通教室鉄筋3階建増築新校舎落成式を行う。
昭和33年 7月14日	大阪樟蔭女子大学夏期公開講座開催。
昭和33年10月20日	大学の研究報告書として「樟蔭文学」第10号、「樟蔭家政学」第9号を発行。
昭和34年 3月28日	高校南新館竣工。
昭和34年 7月14日	大阪樟蔭女子大学夏期公開講座開催。
昭和34年10月20日	大学の研究報告書として「樟蔭文学」第11号、「樟蔭家政学」第10号を発行。
昭和35年 3月 7日	谷口高校主事逝去。
昭和35年 3月31日	尾崎教諭を高校主事に任ずる。
昭和35年 6月27日	森平蔵理事長逝去。（享年85歳）正六位勲三等旭日中綬章を追贈。 故森平蔵理事長の遺志により、理事長邸宅を樟徳館として学園に寄贈。
昭和35年 7月 5日	故森平蔵理事長の学園葬を行なう。（会葬者5000余名）
昭和35年 7月 5日	評議員森重雄を、理事および理事長に任ずる。
昭和35年 7月13日	大阪樟蔭女子大学夏期公開講座開催。
昭和35年 8月12日	中学高校特別校舎（鉄筋四階建）の地鎮祭を行う。
昭和35年 8月19日	三好監事に代り檜原敏郎近畿日本鉄道（株）専務を監事に任ずる。
昭和36年 3月31日	中学高校特別校舎竣工。
昭和36年 9月 5日	学園機構を変更。 潮田富貴蔵理事を専務理事に任ずる。 大阪樟蔭女子大学長兼樟蔭高等学校長兼樟蔭中学校長細川馨を、大阪樟蔭女子大学長兼樟蔭学園長に任ずる。 樟蔭中学校主事佐々木卯平を、樟蔭高等学校長兼樟蔭中学校長に任ずる。

昭和36年10月 6日	森重雄理事長逝去。
昭和36年10月 6日	評議員森彰朗を、理事および理事長に任ずる。
昭和36年10月14日	故森重雄理事長の学園葬を行なう。
昭和37年 3月31日	西体育館竣工。
昭和37年 5月10日	細川学長多年の功績により藍綬褒賞を授けられる。
昭和37年11月15日	藤原弘造監事に代り藤原護評議員を監事に任ずる。
昭和38年12月30日	大学食堂竣工。
昭和39年 9月29日	佐々木卯平樟蔭高等学校・樟蔭中学校校長逝去。
昭和39年10月 1日	中森作太郎を樟蔭高等学校校長に任ずる。
昭和39年10月 1日	稲垣甚逸を樟蔭中学校校長に任ずる。
昭和39年12月10日	図書館司書講習相当科目の単位認定について承認せられる。
昭和40年 2月27日	大学新校舎および学園本館増改築工事の地鎮祭を行なう。
昭和40年 8月30日	学園校舎と東側運動場を結ぶ陸橋竣工。
昭和41年 3月10日	大学新校舎一期工事竣工。
昭和42年 7月 2日	森タマ理事逝去。
昭和42年 7月 4日	故森理事の準学園葬を行なう。
昭和42年 7月12日	武田権六事務局長を理事に任ずる。
昭和42年 8月10日	中森作太郎樟蔭高等学校校長逝去。
昭和42年 8月11日	川田衡を樟蔭高等学校校長に任ずる。
昭和42年 8月30日	大学新校舎二期工事および学園本館竣工。
昭和42年10月28日	創立50周年記念式を行なう。
昭和43年 4月 1日	細川学長退職のため潮田富貴蔵教授を大阪樟蔭女子大学学長・附属幼稚園園長に任ずる
昭和43年 4月 1日	武田権六理事を常務理事に任ずる。
昭和43年 8月30日	高校新校舎竣工。
昭和43年10月31日	高校校舎を結ぶ陸橋竣工。
昭和44年 3月 1日	学園創立時の洗濯教室・試食室を移築し、樟古館と命名する。
昭和44年 4月 1日	稲垣甚逸樟蔭中学校校長退職により、阪口信章を樟蔭中学校校長に任ずる。
昭和44年 5月31日	東体育館竣工。
昭和44年10月23日	吉岡政七を理事に任ずる。
昭和46年 3月29日	樟徳館北隣に新寮（鉄筋5階建）竣工。全旧寮を廃止する。
昭和47年 1月 3日	細川馨理事逝去。従四位勲三等旭日中綬章を授けられる。
昭和47年 1月 6日	故細川理事の準学園葬を行なう。
昭和47年 2月22日	潮田富貴蔵学長逝去。正四位勲三等旭日中綬章を授けられる。
昭和47年 2月25日	理事吉岡政七教授を学長に任ずる。
昭和47年 2月25日	田寺篤雄教授を大阪樟蔭女子大学附属幼稚園園長に任ずる。
昭和47年 3月 6日	故潮田学長の学園葬を行なう。
昭和47年 3月25日	監事藤原護を、理事に任ずる。
昭和47年 3月25日	井上長永船場電気化材社長を監事に任ずる。
昭和48年 5月26日	奈良県北葛城郡香芝町関屋の土地44,610㎡を購入し、学園の総合グラウンド用地とする。
昭和49年 3月31日	川田衡樟蔭高等学校校長退職。
昭和49年 4月 1日	山本嘉一を樟蔭高等学校校長に任ずる。
昭和50年 3月31日	中学体育館および同窓会館竣工。
昭和50年 7月29日	吉岡政七学長逝去。正五位勲三等瑞宝章を授けられる。
昭和50年 8月 1日	教授原田芳起に学長代行を委嘱する。
昭和50年 9月13日	故吉岡学長の大学葬を行なう。
昭和50年10月 1日	教授田寺篤雄に代り教授西本脩を附属幼稚園園長に任ずる。
昭和51年 3月 1日	教授原田芳起を大阪樟蔭女子大学学長に任ずる。
昭和52年 9月28日	三重県一志郡白山町に青山山荘竣工。
昭和52年10月28日	創立60周年記念式を行う。
昭和54年11月19日	阪口信章校長逝去により、西村啓一郎を樟蔭中学校校長に任ずる。
昭和55年 3月 1日	大学新図書館竣工。
昭和55年 4月 1日	原田学長任期満了につき、教授飯守三郎を大阪樟蔭女子大学学長に任ずる。
昭和56年 4月 1日	山本嘉一樟蔭高等学校校長退職により、橋爪弘を樟蔭高等学校校長に任ずる。
昭和56年11月 3日	元学長原田芳起、勲三等瑞宝章を授けられる。
昭和59年 1月10日	檜原敏郎監事逝去。
昭和59年 3月29日	福本藤吾評議員を学校法人樟蔭学園監事に任ずる。
昭和59年 4月27日	中学特別校舎竣工。
昭和59年12月22日	大学学芸学部の収容定員の増加認可される。 昭和60年度より入学定員・国文学科100名、英米文学科100名、食物学科60名、 被服学科60名、児童学科60名、合計380名
昭和61年 4月 1日	教授西本脩にかわり教授廣瀬恭三を附属幼稚園園長に任ずる。
昭和61年12月23日	樟蔭女子短期大学設置認可。
昭和62年 2月 2日	樟蔭女子短期大学校舎竣工。

昭和62年 4月 1日	五十嵐淳短大学長を、理事に任ずる。
昭和62年 4月 1日	教授広瀬恭三に代り、教授名倉啓太郎を附属幼稚園長に任ずる。
昭和62年 4月10日	樟蔭女子短期大学第1回入学式。
昭和62年 5月29日	樟蔭女子短期大学開学式を行う。
昭和62年10月28日	創立70周年記念式を行う。
昭和63年 4月 1日	飯守学長任期満了につき、教授當津武彦を大阪樟蔭女子大学学長・理事に任ずる。
平成 元年 4月 1日	橋爪弘樟蔭高等学校校長任期満了により、入江一久を樟蔭高等学校校長に任ずる。
平成 元年 4月29日	元学長飯守三郎、勲三等瑞宝章を授けられる。
平成 元年10月 5日	佐伯勇理事逝去。
平成 2年 3月26日	教育職員免許法改正による免許状授与の所要資格を取得させるための課程について認定される。
平成 2年12月21日	樟蔭女子短期大学人間関係科設置認可。
平成 2年12月21日	樟蔭女子短期大学の期限を付した入学定員増認可。
平成 3年 4月 1日	辰馬愼吾大学・短大事務局長を理事に任ずる。
平成 4年 3月31日	武田権六常務理事退職。
平成 4年 4月 1日	武田権六に学校法人樟蔭学園顧問を委嘱する。
平成 4年 4月 1日	京橋邦彦法人事務局長を理事に任ずる。
平成 5年 4月 1日	西村啓一郎校長任期満了により、玉木一雄を樟蔭中学校校長に任ずる。
平成 5年 4月 1日	五十嵐淳短期大学長任期満了につき、教授井上秀雄を短期大学学長・理事に任ずる。
平成 5年 4月 1日	五十嵐淳に学校法人樟蔭学園顧問を委嘱する。
平成 5年 4月 1日	理事辰馬愼吾を、常務理事に任ずる。
平成 5年12月 9日	大学Ⅰ・Ⅱ号棟（延べ7132㎡）竣工。
平成 7年 4月 1日	入江一久校長任期満了により、吉備敬三を樟蔭高等学校校長に任ずる。
平成 8年 1月 6日	中学（19号棟）・高校（20号棟）竣工。正門改築竣工。
平成 8年 4月 1日	當津武彦学長任期満了につき、教授名倉啓太郎を大阪樟蔭女子大学学長・理事に任ずる。
平成 8年 4月 1日	教授名倉啓太郎に代り教授長谷川節を附属幼稚園長に任ずる。
平成 8年 4月 1日	閑屋校地の隣地8,000㎡を購入し、短大通学路の改修を行う。
平成 9年 4月24日	平成10年度から別科の学生募集を停止する。
平成 9年 9月30日	大学附属幼稚園新園舎（延べ1,166.40㎡）を竣工。
平成 9年10月28日	創立80周年記念式を行う。
平成10年 3月11日	大阪樟蔭女子大学学芸学部被服学科につき、（社）日本衣料管理協会より1級テキスタイルアドバイザー養成施設として認定される。
平成10年 4月 1日	教授長谷川節に代り、教授竹内徹を大阪樟蔭女子大学附属幼稚園長に任ずる。
平成10年 4月 1日	辰馬愼吾、常務理事を解き理事に任ずる。
平成10年 4月 1日	理事京橋邦彦を常務理事に任ずる。
平成10年 4月 1日	森眞太郎法人事務局長を理事に任ずる。
平成10年10月 8日	井上長永監事逝去。
平成10年11月 5日	久我一郎を学校法人樟蔭学園監事に任ずる。
平成11年 4月 1日	井上秀雄短期大学長任期満了につき、教授松尾壽を短期大学学長・理事に任ずる。
平成11年 5月13日	森眞太郎を理事長代行に任ずる。
平成11年 5月23日	森彰朗理事長逝去。正五位勲三等瑞宝章を授けられる。
平成11年 5月24日	森眞太郎理事長代行を理事長に任ずる。
平成11年 6月22日	故森彰朗理事長の学園葬を行なう。
平成12年 4月 1日	名倉啓太郎学長任期満了につき、理事長森眞太郎を学長に任ずる。
平成12年 4月 1日	教授鳥井清を学芸学部学部長、理事に任ずる。
平成12年 5月24日	学芸学部日本文化史学科入学定員60名設置認可。
平成12年 5月24日	学芸学部の収容定員の増加、減少について認可。 平成13年度より入学定員・国文学科80名、英米文学科80名、食物学科80名、被服学科80名。
平成12年10月18日	樟徳館が国の登録有形文化財に登録される。
平成12年10月18日	フーズスペシャリスト養成課程について認定される。
平成12年12月21日	大阪樟蔭女子大学人間科学部設置認可。 平成13年度より入学定員・心理学科120名、編入学（3年次）25名、 児童学科120名、編入学（3年次）25名、 応用社会学科145名、編入学（3年次）30名。
平成12年12月21日	教員免許状授与の所要資格を得させるための課程について認定される。 1. 免許状の種類および免許教科 学芸学部 日本文化史学科 / 中学校（社会） 高等学校（地理歴史） 人間科学部 児童学科 / 幼稚園 応用社会学科 / 中学校（社会） 高等学校（公民） 2. 認定の時期 平成13年4月1日
平成12年12月21日	樟蔭女子短期大学を大阪樟蔭女子大学短期大学部に名称変更することが受理される。
平成12年12月27日	大阪樟蔭女子大学人間科学部児童学科につき児童福祉法施行令にもとづき保育士養成施設として指定される。
平成13年 4月 1日	樟蔭中学校・樟蔭高等学校に特別進学コース・総合進学コースを導入。
平成13年 4月 1日	松尾寿短大学長退職につき、森眞太郎学長を短期大学学長（兼務）に任ずる。
平成13年 4月 1日	教授片山忠次を人間科学部長・理事に任ずる。

平成13年 4月 1日	片岡卓三を中学・高校校長、理事に任ずる。
平成13年 4月 1日	牧野明次を学校法人樟蔭学園理事に任ずる。
平成13年 4月 1日	教授竹内徹に代り教授大橋岑吉を附属幼稚園長に任ずる。
平成13年12月21日	学芸学部食物学科を食物栄養学科に名称変更することが受理される。
平成14年 1月21日	大阪樟蔭女子大学学芸学部食物栄養学科につき栄養士法にもとづき管理栄養士の養成施設として指定される。平成14年4月以降の入学者の養成について適用する。
平成14年 3月31日	京橋邦彦常務理事退任。
平成14年 4月 1日	京橋邦彦に学校法人樟蔭学園顧問を委嘱する。
平成14年 4月 1日	次井義泰法人代表人本部事務局長を理事に任ずる。
平成14年 7月30日	学芸学部の収容定員の増加、減少について認可。 平成15年度より入学定員・国文学科70名、英米文学科70名、日本文化史学科60名 食物栄養学科80名、被服学科100名。
平成15年 3月31日	樟蔭女子短期大学日本文化史科、日本文学科、英米語科廃止。
平成15年 3月31日	次井義泰、理事を退任。
平成15年 4月 1日	教授大橋岑吉にかわり教授菊野春雄を附属幼稚園長に任ずる。
平成15年 4月 1日	藤原準二法人代表人本部事務局長を理事に任ずる。
平成15年 4月 1日	前川文夫大学事務局長を理事に任ずる。
平成15年 7月24日	大阪樟蔭女子大学学芸学部インテリアデザイン学科入学定員60名の設置届出が受理される。
平成15年 7月24日	平成16年度より学芸学部 被服学科の入学定員を60名に変更。
平成15年 7月24日	平成16年度より人間科学部 応用社会学科の入学定員を125名に変更。
平成15年11月27日	大阪樟蔭女子大学大学院人間科学研究科臨床心理学専攻入学定員8名設置認可。
平成16年 4月 1日	大阪樟蔭女子大学学芸学部インテリアデザイン学科設置。
平成16年 4月 1日	片山忠次人間科学部長任期満了につき、教授岩田紀を人間科学部長・理事に任ずる。
平成16年 4月 1日	教授岩田紀を人間科学研究科長に任ずる。
平成16年11月17日	大阪樟蔭女子大学大学院人間科学部人間社会学科設置届出受理される。
平成16年11月30日	大阪樟蔭女子大学大学院人間科学研究科人間栄養学専攻（入学定員8名）設置認可。
平成17年 3月31日	辰馬慎吾・片岡卓三、理事を退任。
平成17年 3月31日	学芸学部児童学科廃止。
平成17年 4月 1日	大阪樟蔭女子大学大学院人間科学部人間社会学科設置。
平成17年 4月 1日	大阪樟蔭女子大学大学院人間科学研究科人間栄養学専攻設置
平成17年 4月 1日	片岡卓三中学、退職につき藤川保を中学・高校校長、理事に任ずる。
平成17年 4月 1日	中野貞一郎を学校法人樟蔭学園理事に任ずる。
平成17年 4月 1日	辰馬慎吾に学校法人樟蔭学園顧問を委嘱する。
平成17年 5月16日	大学院人間科学研究科臨床心理学専攻について、日本臨床心理士資格認定協会より第1種指定を受ける。
平成18年 4月 1日	森眞太郎学長任期満了につき、教授森田洋司を学長・理事に任ずる。
平成18年 4月 1日	鳥井清学芸学部長任期満了につき、教授葛谷恒彦を学芸学部長・理事に任ずる。
平成18年 4月 1日	岩田紀人間科学部長任期満了につき、教授徳永正直を人間科学部長・理事に任ずる。
平成18年 4月 1日	教授菊野春雄にかわり教授塩見慎朗を附属幼稚園長に任ずる。
平成19年 4月 1日	大阪樟蔭女子大学学芸学部ライフプランニング学科（入学定員75名）設置。
平成19年 4月 1日	大阪樟蔭女子大学学芸学部日本文化史学科・人間科学部人間社会学科の募集停止。
平成19年 4月 1日	大阪樟蔭女子大学学芸学部に専攻を設置。両学部の各学科の入学定員を変更。 国文学科90名 国文学専攻（60名）、歴史文化専攻（30名） 食物栄養学科110名 管理栄養士専攻（80名）、食物栄養専攻（30名） 被服学科員75名 アパレル専攻（60名）、化粧文化専攻（15名） インテリアデザイン学科75名 人間科学部心理学科135名、児童学科150名、各編入学定員廃止。
平成19年 4月 1日	藤川保中学・高校校長退職につき、理事長森眞太郎を中学・高校校長（兼務）に任ずる。
平成19年 4月 1日	大阪樟蔭女子大学人間科学部児童学科に小学校教員免許課程設置。
平成19年 6月 9日	田辺聖子文学館竣工、併せて開館記念式を行う。
平成20年 3月31日	藤原準二 理事を退任。
平成20年 4月 1日	高橋重樹を大学事務局長を理事に任ずる。
平成20年 4月 1日	岩田紀人間科学研究科長任期満了につき、教授杉谷義憲を人間科学研究科長に任ずる。
平成20年 4月 1日	藤原準二・柿本善也を監事に任ずる。
平成20年 4月 1日	樟蔭中学校 完全6年一貫制。選抜進学コース・特進学コースを導入。
平成20年 4月 1日	樟蔭高校 特進コース・進学コースを導入。
平成20年 6月30日	大阪樟蔭女子大学学芸学部の収容定員の増加について認可。 食物栄養学科 10名 被服学科 化粧学専攻 15名 平成21年度より人間科学部（心理学科・児童学科）を募集停止し、大阪樟蔭女子大学心理学部・児童学部の設置届出が受理される。 入学定員は、心理学部 臨床心理学科 定員50名 / 発達教育心理学科 定員30名 ビジネス心理学科 定員30名 児童学部 児童学科 定員150名
平成20年 6月30日	平成21年度より、大阪樟蔭女子大学短期大学部人間関係学科を募集停止し、大阪樟蔭女子大学短期大学部キャリアデザイン学科入学定員100名の設置届出が受理される。

平成20年 6月30日	学芸学部被服学科アパレル専攻を被服学専攻に、化粧文化専攻を化粧学専攻に名称変更することが受理される。
平成20年12月24日	教員免許状授与の所要資格を得させるための課程について認定される。 1. 免許状の種類および免許教科 心理学部 発達教育心理学科 / 中学校（社会） 高等学校（公民） 児童学部 児童学科 / 幼稚園 小学校 2. 認定の時期 平成21年4月1日
平成21年 3月31日	辰馬愼吾、顧問退任。
平成21年 4月 1日	理事長森眞太郎を中学・高校校長任期満了につき、篠原芳雄を中学・高校校長、理事に任ずる。
平成21年 4月 1日	大阪樟蔭女子大学心理学部（臨床心理学科・発達教育心理学科・ビジネス心理学科）、児童学部（児童学科）を設置。〔人間科学部は募集停止〕
平成21年 4月 1日	教授仲谷兼人を心理学部長に任ずる。
平成21年 4月 1日	教授菊野春雄を児童学部長に任ずる。
平成21年 4月 1日	学芸学部被服学科アパレル専攻を被服学専攻に、化粧文化専攻を化粧学専攻に名称変更。
平成21年 4月 1日	大阪樟蔭女子大学短期大学部キャリアデザイン学科設置。〔人間関係科は募集停止〕
平成22年 4月 1日	森田洋司学長任期満了につき、教授徳永正直を学長・理事（再任）に任ずる。
平成22年 4月 1日	教授葛谷恒彦を副学長・学芸学部長・理事に任ずる。（いずれも再任）
平成22年 4月 1日	教授大江米次郎を副学長・心理学部長・理事に任ずる。
平成22年 4月 1日	教授菊野春雄を人間科学研究科長・児童学部長（再任）に任ずる。
平成22年 4月 1日	牧野明次、理事を退任。京橋邦彦、顧問を退任。
平成22年 4月 1日	学芸学部英米文学科を国際英語学科に改組。
平成22年 4月 1日	学芸学部食物栄養学科を健康栄養学科に名称変更。
平成22年 4月 1日	学芸学部被服学科化粧学専攻に美容師国家試験受験資格を得られる美容コースを設置。
平成23年 4月 1日	教授塩見愼朗にかわり教授石川義之を付属幼稚園長に任ずる。
平成23年 4月 1日	大阪樟蔭女子大学短期大学部キャリアデザイン学科の募集停止。
平成24年 3月31日	中野貞一郎、理事退任。
平成24年 4月 1日	池田良兼を理事に任ずる。
平成24年 4月 1日	教授石川義之にかわり教授山本光男を付属幼稚園長に任ずる。